# 平成19年度

# 「わかりやすいかさまの予算」

~みんなで創る 文化交流都市~



# 笠 間 市

# はじめに

笠間市は、新市まちづくりの重点ビジョンを「恵まれた交通基盤を活かしたまちづくり」とし、平成18年3月19日に笠間市、友部町、岩間町が合併し誕生しました。平成18年度は、合併協議による新市まちづくり計画に基づき、各種施策を実施してきました。



笠間市長 山口伸樹

平成19年度からは、笠間市総合計画基本構想に掲げる将来像「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」を実現するため、次の6つの柱(施策の大綱)に沿った事業を進めていきます。

- 1. 広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり(土地利用・都市基盤)
- 2. 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり(産業)
- 3. 共に支えあい、健やかに暮らせるまちづくり(健康・福祉)
- 4. 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり(生活環境)
- 5. 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり(教育・文化)
- 6. 人と地域、絆を大切にした元気なまちづくり(自治・協働)

6つの柱の事業を実施するにあたり、納めていただいた税金がどのように使われているのかを市民の皆様にお知らせし、理解していただくために、今回この **平成19年度「わかりやすいかさまの予算**」を作成しました。市の予算の具体的な内容を、図表や写真を活用し少しでもわかりやすい説明になるよう心がけましたので、市の予算がどのように使われているかをぜひお確かめください。

今後も市民参加の推進を図り、より一層わかりやすい行政運営に努めていき ますので、引き続きご指導ご支援よろしくお願いします。

# 一 目 次 一

[ 各 会 計 の 予 算 額	1
Ⅱ 一般会計予算を家計にたとえると ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
Ⅲ 基 本 構 想 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
Ⅳ 主 な 事 業 の 説 明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
1. 広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり ・・・・・・・・	4
2. 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり	6
3. 共に支えあい、健やかに暮らせるまちづくり	8
4. 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり	10
5. 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり …	12
6. 人と地域、絆を大切にした元気なまちづくり	14
V 財 政 関 連 の 数 値 ·································	16
Ⅵ 参 考 資 料	17
1. 一般会計	17
2. 特別会計	19
3. 企業会計	21

# I 各会計の予算額

(単位:千円,%)

会	計		名	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	対前年度比率
_	般	会	計	27,310,000	27,094,000	216,000	0.8
国民	健康保障	美特別	会計	7,648,000	6,997,734	650,266	9.3
老人	保健物	寺 別	会 計	5,951,000	5,749,679	201,321	3.5
介護	保険物	寺 別	会 計	4,020,000	3,867,912	152,088	3.9
介護も	ナービス事	業特別	引会計	15,378	15,510	△ 132	△ 0.9
公共一	下水道事	業特別	会計	2,801,951	2,711,682	90,269	3.3
農業集	<b>ミ</b> 落排水事	業特別	引会計	478,802	987,869	△ 509,067	△ 51.5
市立	病院	事業	会 計	547,988	567,130	△ 19,142	△ 3.4
笠 間	水道	事業	会 計	1,027,429	1,038,132	△ 10,703	△ 1.0
友 部	水道	事業	会 計	1,203,785	901,111	302,674	33.6
岩間	水道	事業	会 計	408,879	475,247	△ 66,368	△ 14.0
工業	用水道	事業	会計	36,110	32,930	3,180	9.7
É	ì	計		51,449,322	50,438,936	1,010,386	2.0





市税をはじめ、国・県からの補助金や交付金などを財源として、福祉・教育・土木・衛生などの基本的な施策を行う会計です。

# 特別会計とは



国民健康保険や公共下水道のように、保険税や使用料などの特定の 収入により特定の事業を運営するために、一般会計と分けて設けられている会計です。

# 企業会計とは



病院事業や水道事業のように,運営に係る経費を事業収入により行うために設けられている会計です。

# Ⅱ 一般会計予算を家計にたとえると

# ◎一年間に必要な生活費を500万円としてみると

	収	λ	
一般会計予算	〔(年額)	家計にたとえた場合(	年額)
市税など自主財源	121億1,093万円	年収(給料・ボーナスなど)	222万円
交付税・国・県支出金など	103億3,327万円	親などからの援助	189万円
市債	35億1,580万円	ローンの借り入れ	64万円
繰入金	13億5,000万円	預貯金の取崩し	25万円
合 計	273億1,000万円	合 計	500万円

	支	出	
一般会計予算	(年額)	家計にたとえた場合(	(年額)
人件費	65億0,281万円	食費, 衣服費, 税金	119万円
物件費など	37億2,414万円	光熱水費,交際費,通信費	68万円
投資的経費・維持補修費		自宅の増改築・修繕費	102万円
扶助費	30億3,490万円	医療費・保険料・介護サービス 利用料など	56万円
補助費等	29億4,139万円	子どもの小遣い・教育費、自治会費	54万円
公債費	25億2,607万円	ローンの返済	46万円
積立金・投資及び出資金・貸付金	1億6,807万円	預貯金	3万円
繰出金	28億3,681万円	子どもへの仕送り	52万円
숨 計	273億1,000万円	合 計	500万円

資産の状況						
市債残高	241億7,748万円	ローン残高	443万円			
基金残高	83億7,088万円	預貯金	153万円			

1年間の生活費500万円をまかなうのに、年収(222万円)に親などからの援助(189万円)を加えてもなお不足する額89万円のうち、64万円をローン借り入れで、さらに25万円を預貯金の取崩しで対応しています。

「ちなみに, 一般会計の予算を一人当たりに 換算すると年額約333,700円になります。 おもな内訳は 民生費が約81,000円

土木費が約72,500円 教育費が約37,900円

公債費が約31,000円となっています。



#### $\blacksquare$ 基本構想

将 来 像

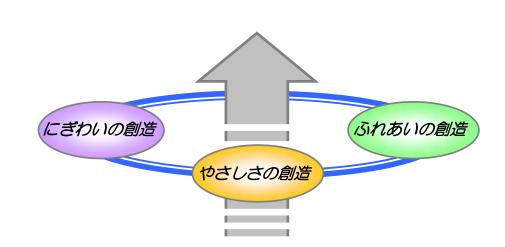
# 住みよいまち 訪れてよいまち 笠間

みんなで創る 文化交流都市

基 本 方 針

将来像を実現するための6つの柱

(施策の大綱)



共に支えあい

多彩な交流で飛躍する

活力ある産業のまちづくり

**(産** 

業

健やかに暮らせるまちづくり(健康・福祉)

自然と共生した安全で

やさしさのあるまちづくり

(生活環境)

創造・発信するまちづくり (教育・文化)

人が輝き、

豊かな文化を

人と地域、 絆を大切にした

元気なまちづくり

(自治・協働)

広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり

(土地利用·都市基盤)

# Ⅳ 主な事業の説明

「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」を実現するための6つの柱にそって各種施策を展開します。

1. 広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり(土地利用・都市基盤)

恵まれた交通環境と地理的特性を最大限に生かし, 活発な交流を支える美しく機能的な都市空間を形成します。

- (1) 交流と地域の力を高める土地利用を進めます。
  - ○都市計画マスタープランの作成(新規) 6,204千円 新しいまちづくりを進めるため、将来の目指すべき都市像や土地利用などのまちづくりの基本的な方針を策定します。



友部駅周辺イメージ図

# ○友部駅周辺整備事業

1,453,212千円 友部駅の魅力づけと駅前 広場の整備改善により,交 通結節点としての利便性・ 快適性の向上と駅周辺地域 の環境改善を図ります。

#### 〇岩間駅周辺整備事業 445,969千円

岩間駅東西地区の連携を図るとともに、利用者の利便性及び安全性を確保し、 合わせて地域防災力を向上させるため、自由通路及び道路等の都市基盤整備を 進めます。

# (2) 多彩な交流・連携を支えるネットワークを形成します。



# ○市幹線道路整備事業

1,547,299千円 新市の一体化を促進する幹線 道路(14路線)の整備を進め ます。

# 〇新交通システム運行事業(新規) 38,020千円

高齢化の進行等により、日常生活における移動手段の確保策が必要であるため、できる限り早期に全市域を網羅する運送サービスを導入し、高齢者を中心とした交通弱者の医療・福祉などの公共公益施設、商業施設へのアクセス強化を図ります。

# ○友部駅南口まちづくり推進事業(新規) 351千円

交流拠点と位置づけている JR 友部駅周辺を「まちの顔」としてふさわしい賑わいのある市街地として形成していくため、友部駅南口の駅前地区活性化に向けて、市民との協働によるまちづくりを進めます。



# ○ 情報系システム整備事業

55,600千円 個人情報保護を推進する ため、更に情報セキュリティを強化したシステム構築 を図ります。

# 2. 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり(産業)

笠間の風土が息づくさまざまな交流を広げ, 市民の豊かな暮らしにつながる活力ある産業の振興を図ります。

#### (1) 笠間を体感できる観光・産業を振興します。



#### ○観光イベントの開催

23,265千円 歴史・伝統・文化等に育まれた 笠間の素晴らしさを再認識し、観 光振興の一環としてつつじ祭り、 笠間のまつり、菊まつりなどのイ ベントを開催します。

# 〇佐白山周辺観光振興事業 105,000千円

笠間芸術の森公園から佐白山麓公園周辺、笠間稲荷神社への回遊性を持たせることを目的として、観光客及び市民が愉快にくつろぐことができる憩いの空間、そして笠間の歴史や文化にふれあえる拠点づくりを図ります。

#### 〇市内観光周遊バス運行事業 34,092千円

(財)宝くじ協会の助成制度を活用して、新たなバスを購入することにより、 観光客の方の利便性の向上及び市内観光施設間の回遊性の効果を図ります。

#### (2) 豊かな恵みを実感できる農林業を振興します。



〇笠間市農林業振興基本計画策定事業 (新規) 2,940千円

> 農業の現状及び農村を取り巻く 状況から、今後の笠間市の農林業 の持続的な発展並びに振興のため の指針を策定します。

# 〇農業基盤整備事業 84,356千円

農地の区画整理,用排水施設,農道,暗渠排水等を総合的に整備し,農地の集約及び労力の省力化等による生産性の向上が図れるよう,県営事業を活用した基盤整備事業を進めます。



〇グリーンツーリズム推進事業 1,034千円 笠間クラインガルテンや愛 宕山周辺を拠点として,農業 体験などを通し,都市と農村 の交流事業などを進めます。

# (3) 交通条件を生かした、豊かさを育む商工業を振興します。

# ○商業の振興 135,649千円

商店街の活性化として地域の特性にあわせた商業振興を支援するとともに, 中小企業の経営安定に向けた金融政策を進めます。

# 〇工業の振興 6,118千円

交通の利便性を生かし, 茨城中央工業団地等への企業誘致を茨城県と連携をとりながら進めるとともに, 新しい時代に即した工業の振興を図ります。

# 〇工業用水事業 36,110千円

岩間工業団地において、給水需要を踏まえた水源の確保を図るとともに、 長期的な視点に立った施設の維持・更新を計画的に実施し、工業用水の供給 を推進します。

# 3. 共に支えあい、健やかに暮らせるまちづくり(健康・福祉)

支えあう心を大切にし,

だれもが安心して健やかに暮らせる福祉社会の実現を目指します。

(1) 日々の健康を支える安心な保健・医療の体制を整えます。



#### 〇老人保健事業

143,558千円 市民の生活習慣病を予防し, 疾病発病を早期発見するため, 老人保健法により各種健康診査 や健康教育・相談を実施します。

〇地域の健康づくり事業(新規) 1,403千円

壮年期の生活習慣病対策として、笠間・友部・岩間の3地区において、誰でも気軽に参加できる健康体操を推進し、市民の健康意識の高揚と健康増進を図ります。

〇特定健康診査等実施計画策定事業(新規) 7,106千円

平成20年度から医療保険者にメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した特定健診と保健指導が義務付けられたことに伴い、特定健診・保健指導の実施にむけた計画を策定します。

(2) 支えあい、心がかよう福祉環境をつくります。

〇ねんりんピック事業 21,230千円

60歳以上の高齢者を中心とした健康と福祉の祭典である全国健康福祉祭いばらき大会(ねんりんピック茨城 2007)が開催されるにあたり、笠間市で囲碁とペタンクの交流大会を開催します。



# ○介護サービス事業

3,775,009千円 居宅介護,施設介護及び介護 予防を含め,介護を必要とする 人が介護サービスを受けたとき に介護給付を行います。

○障害者自立支援給付事業 530,359千円 在宅及び施設入所障害者の方が受ける福祉サービスに対し、支援給付を行います。

### (3) 安心して子どもを生み育てることができる環境をつくります。



# ○地域子育て支援事業

2,679千円 子育てをしている家庭に対し て,保育所の場所を提供し,保 育士のもっている知識や,ボラ ンティア活動者の経験を生かし, 子育てに対する相談・指導,子 育てサークル等の育成や支援を 図ります。

〇児童クラブ推進事業 80,934千円

小学校低学年児童のうち,昼間保護者のいない家庭の児童に対し,遊び及び生活の場を確保し,児童の健全育成を図ります。

〇児童手当事業 586,975千円

小学校6年生までの児童を養育している方に手当を支給することにより、 家庭における生活の安定と児童の健全な育成及び資質の向上を図ります。

# 4. 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり(生活環境)

豊かな自然との共生を基本として、だれもが安全に ゆとりをもって暮らせるやさしさに包まれた環境をつくります。

- (1) だれにもやさしく、潤いのある生活環境を整えます。
  - 〇生活関連道路整備事業 370,270千円 市民の日常生活に直結した生活関連道路の整備を進めます。
  - 〇安心・安全な水の供給事業 2,349,703千円 長期的な視点に立った水道事業基本計画を策定し、老朽化や災害対策を踏まえた施設の維持・更新を計画的に実施していくとともに、給水需要に応じた水源の確保を図り、安心・安全な飲料水の供給を進めます。
  - 〇生活排水処理対策事業 3,321,238千円 市民の生活環境の向上と自然と共生する環境の維持・保全に向けて,生活 排水ベストプランを策定し,公共下水道及び農業集落排水施設の整備を推進 するとともに,合併処理浄化槽の設置を促進し,地域の特性に応じた生活排 水処理対策を進めます。
- (2) さまざまな不安や災害に強い安心・安全なまちをつくります。
  - 〇消防ポンプ自動車更新事業 76,100千円 市民の生命と財産を守るため、消防署及び消防団の老朽化した消防ポンプ 自動車を更新します。



### ○災害対策及び国民保護事務

7,101千円

地域防災計画を策定し、自主 防災組織の育成や活動支援、防 災施設・設備の整備など総合的 かつ計画的な防災対策を進めま す。また災害や武力攻撃など緊 急事態において、市民の避難や 救援措置などを的確かつ迅速に 図るため、国民保護計画に基づ く対策を推進します。

# 〇防犯灯整備事業 6,762千円

夜間の犯罪などを未然に防ぐため,通学路などへの防犯灯の設置を図ると ともに,地区で設置する防犯灯への補助を行います。

# (3) 自然環境にやさしい循環型社会をつくります。



ホタルの郷を目指して

# ○ 環境基本計画策定事業

9,765千円 自然環境や生活環境などに おける各施策を総合的かつ計 画的に進め,市民参加による 取り組みを促進するため,そ の指針となる環境基本計画を 策定します。

# 〇循環型社会推進事業 234,225千円

循環型社会の推進に向けて,市民や企業と一体となって分別収集及び3R運動(ごみの減量化,再利用,再資源化)の推進を図ります。



# 5. 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり(教育・文化)

歴史や文化を育んできた風土を大切にし. 次代を担う人づくりを進め、創造・発信する豊かな文化を育みます。

# (1) 次代を担う子どもを育みます。

〇特色ある学校づくり事業(新規) 9,004千円

それぞれの小中学校において、児童生徒及び地域の実情等を踏まえ、学校 独自の特色ある事業を展開していきます。



#### ○学校施設整備事業

489,961千円

友部中学校をはじめとした市 内小中学校の耐震補強等の整備 改善を計画的に進めるとともに, 友部地区・岩間地区の小中学校 に洋式トイレを整備します。

# 〇放課後子どもプラン事業(新規) 2,083千円

放課後に子どもたちが、安全で健やかに過ごせる居場所づくりを推進する ため、東小学校に放課後子ども教室を開設します。

# (2) だれもが自ら学び、能力を発揮できる環境をつくります。

〇生涯学習支援事業 9,010千円

だれもが、いつでも、どこでも、自由に学習機会を選択して学ぶことがで きるよう、学習情報の提供や指導体制の充実など生涯学習を総合的に推進す る体制を整備します。

# 〇公民館活動事業 20,726千円

公民館において各種の定期講座を開催し、学習活動の場を提供するととも に、多様化するニーズに対応するため設備等の充実を進めます。



# ○スポーツ振興計画策定事業

445千円

市民のだれもが、いつでも、どこでもいつまでも運動やスポーツを楽しみ、健康で豊かな生活を送ることができるまちづくりを目指し、スポーツ振興計画を策定します。

#### (3) 個性と創造性豊かな笠間の文化を広げていきます。

○市史編さん事業

4,937千円

旧3市町のそれぞれの歴史を新笠間市として後世に継承していくために、市史の編さんを進めます。



# ○芸術文化推進事業

10,442千円

学校・市民・企業と連携しながら,世代間・地域間などの文化交流を推進するとともに,クールシュヴェール国際音楽アカデミーや全国子ども陶芸展など国際的・全国的なイベントをはじめ芸術鑑賞事業を通じ市民の文化活動への参加の機運を高め,地域文化の振興を図ります。

#### 〇国民文化祭事業 984千円

平成20年に開催される「第23回国民文化祭・いばらき2008」において、笠間市で開催される「笠間・炎の祭典」「ストーン文化フェスティバル」のイベント開催の準備を進めます。

# 6. 人と地域、絆を大切にした元気なまちづくり(自治・協働)

一人ひとりを大切にし.

市民と行政の協働による楽しく元気なまちづくりを実践します。

- (1) 一人ひとりが尊重しあう心を育みます。
  - 〇人権施策推進基本計画策定事業 260千円

人権教育及び人権啓発に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために, 人権施策推進基本計画を策定します。

〇男女共同参画推進事業 6,506千円

男女共同参画社会の実現を目指し男女共同参画計画を策定します。また職場での取り組みを支援するため、「男女共同参画推進事業所」として事業所と協定を締結し、雇用の場における男女共同参画を促進します。

- (2) 地域の大切さを知り、協働による地域づくりを進めます。
  - 〇地域資源発掘調查事業 4,850千円

団体間の連携と新たな市民活動の促進を図るため、市内で活動しているさまざまな市民団体や多種多様な地域資源を調査・発掘し、これらの情報を発信します。



〇まちづくり市民活動助成事業 (新規) 1,081千円 市民のニーズを生かし市 民参画を一層進めるととも に,市民と行政がそれぞれ の役割を分担しながら「協 働のまちづくり」に取り組 むため,市民活動の必要経 費に対する助成を公募によ り行います。

〇コミュニティ助成事業 5,000千円

地域住民のコミュニティ活動の活性化を目的に、活動に必要な備品購入費用等を助成します。

# (3) 自治を育み、創造的な行財政運営を推進します。

# 〇行政改革推進事業 374千円

スリムで機動性に富んだ市の組織を構築し、自立した自治体を築いていく ため、笠間市行財政改革大綱及び実施計画に基づき適正な進行管理を行うと ともに、新たな改革項目を積極的に取り入れながら行財政改革を推進します。

# 〇広報活動事業 8,289千円

市の広報紙「広報かさま」やお知らせ版,ホームページを通して,市の施 策や身近な情報を提供するとともに,市民参加に基づいた広報活動を推進し ます。また広報紙及びホームページに有料広告を募集し,新たな財源確保に 努めます。

# 〇電子入札制度導入事業(新規) 7,600千円

茨城県が開発した電子入札システムを県や他市町村と共同利用し、入札の 公平性、透明性をより向上させるために電子入札制度を導入します。



# V財政関連の数値

平成17年度決算に伴う財政関連の数値は以下のとおりです。

財政指標	笠間市	県内32市 中順位	県内32市 平均	備考
財政力指数	0.6	23	0.7	普通交付税の算定に用いる基準財政収入額を,基準財政需要額で除した数値の過去3か年の平均値をいい,各地方公共団体の財政力を示す指数です。この指数は1に近く,あるいは1を超えるほど財政的に余裕がある団体といわれています。
実質公債費比率	12.5	4	15.0	地方税や普通交付税等の一般財源のうち、公債費や公営企業債に対する繰出金などの公債費に準ずるもの、一部事務組合負担金のうち公債費に該当するものを含めた実質的な公債費相当額から普通交付税が措置されている額を控除した額の占める割合の前3ヶ年度の平均値をいいます。 この実質公債費比率が18%を超えると、地方債許可団体に移行することとされています。また25%を超えると、単独事業の起債が認められなくなり、起債制限団体となります。
経常収支比率	89.9	15	91.0	財政構造の弾力性を示す指標で,経常経費に充てた 一般財源の,経常一般財源に対する割合です。数値が 小さいほど、弾力性のある行政運営が出来ます。
ラスパイレス指数	96.6	20	96.9	市(地方公務員)の給与水準を、国(国家公務員) の給与水準と比較するために用いる統計上の指数で す。国の平均給料月額を100とした場合、市がどれく らいの値となるかを見るものです。笠間市の給与水準 は、県内市平均以下となっています。

\*起債償還の指標である実質公債費比率は、県内平均を大きく下回り県内4位となっています。また、財政構造の弾力性を示す経常収支比率については、県内平均とほぼ同水準になっております。しかし、自治体の財政力を示す財政力指数は、県内平均を0.1ポイント下回っており、市税等の自主財源の確保が大きな課題です。

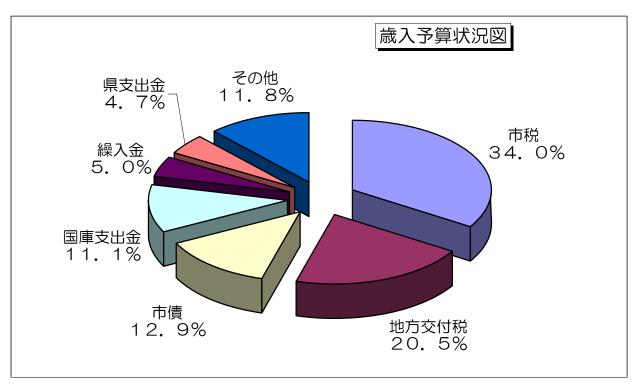
# VI 参考資料

# 1. 一般会計

# 歳

昨年に引き続き、地方交付税算定の特例分、県補助金の合併特例交付金、合併特例債等の合併 支援措置を有効に活用するとともに、税負担の公平を保つため、自動車タイヤロックを導入し、 徴収率のアップを図ります。また、新たに広告収入を見込むなど極力歳入の確保に努めます。

					(   1   0
歳	平成19年	丰度	平成18年	丰度	比較増減額
אנויו 🔨	予算額	構成比	予算額	構成比	レロギメンロ // 95 ロ只
市税	9,286,823	34.0	8,320,308	30.7	966,515
地方交付税	5,601,000	20.5	5,846,044	21.6	△ 245,044
市 債	3,515,800	12.9	3,014,600	11.1	501,200
国庫支出金	3,027,991	11.1	3,263,397	12.0	△ 235,406
繰 入 金	1,349,998	5.0	1,622,831	6.0	△ 272,833
県 支 出 金	1,278,786	4.7	1,139,607	4.2	139,179
その他	3,249,602	11.8	3,887,213	14.4	△ 637,611
歳入合計	27,310,000	100.0	27,094,000	100.0	216,000

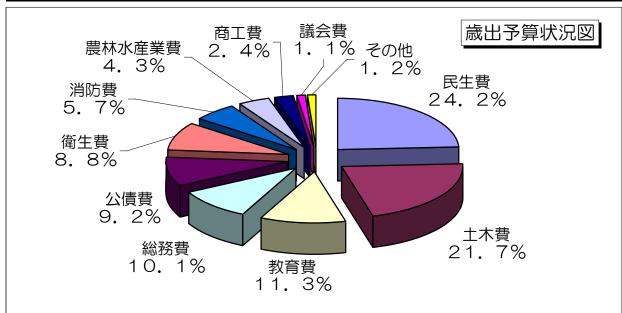


市税	市民税・固定資産税などの税金です。
地方交付税	自治体間の財源の不均衡を是正するため国から交付されます。
市債	国や金融機関から借り入れるお金です。
国庫支出金	国からの補助金で生活保護や幹線道路整備等特定の事業に充てられます。
繰 入 金	各基金(預貯金)を取崩して使用します。
県支出金	県からの補助金で統計調査や農地の整備等特定の事業に充てられます。
その他	各種使用料や前年度からの繰越金です。

# 歳出

新市の一体感を醸成し合併効果を高めるための幹線道路整備,交通の利便性を高めるための駅 周辺整備,新しい交通体系等の都市基盤整備に重点を置いた予算編成をしました。

							(十 <u>四</u> · 113, 70)
歳	出		平成19年	丰度		Ŧ度	比較増減額
NJX	ш		予算額	構成比	予算額	構成比	レロ∓X ↓日 //% ロ只
民	生費		6,610,002	24.2	6,282,860	23.2	327,142
土	木		5,915,942	21.7	5,764,757	21.3	151,185
教	育 費		3,091,808	11.3	3,301,409	12.2	△ 209,601
総	務 費		2,750,657	10.1	2,727,280	10.1	23,377
公	債 費		2,526,150	9.2	2,302,955	8.5	223,195
衛	生 費		2,393,594	8.8	2,714,667	10.0	△ 321,073
消	防 費		1,562,402	5.7	1,528,078	5.6	34,324
農材	水産業費		1,179,821	4.3	1,203,652	4.4	△ 23,831
商	工 費		656,338	2.4	545,740	2.0	110,598
議	会 費		296,639	1.1	419,700	1.6	△ 123,061
そ	の他		326,647	1.2	302,902	1.1	23,745
歳 と	出合	計	27,310,000	100.0	27,094,000	100.0	216,000



民	生	費	社会福祉、児童福祉、生活保護などの経費です。
土	木	費	道路・公園などの整備・管理等の経費です。
教	育	費	学校・図書館等の経費、スポーツ大会等の経費です。
総	務	費	庁舎の維持管理、広報紙発行、選挙等の経費です。
公	債	費	借入金の返済を行う経費です。
衛	生	費	各種検診・予防接種、ごみ収集等の経費です。
消	防	費	火災や台風などの防災活動経費です。
農材	水産	業費	農業や林業の振興のための経費です。
商	I	費	商工業の振興や観光事業の推進に関する経費です。
議	会	費	議員報酬や議会の運営に関する経費です。
そ	の	他	病院・水道事業への出資金,不測の事態に備えた予備費です。

# 2. 特別会計

# (1) 国民健康保険特別会計

加入者のみなさんが病気やけがをした時に備えて、安心して治療を受けられるように、普段からお金を出し合い、お互いに助け合う国民健康保険制度のための会計です。

(単位:千円,%)

							\ <u>+                                    </u>	J, /U/		
歳入予算額			7,648,000		歳出予算額			7,648,000		
歳 入 🌣	7	訳	予 算 額	構成比	歳	出	内	訳	予算額	構成比
国民健康保険税			2,546,422	33.3	保険給	付費			4,934,396	64.5
国庫支出金	車支出金 2,127,15°		2,127,151	27.8	8 老人保健拠出金				1,078,797	14.1
療養給付費等交付	金位		1,058,269	13.9	介護納付金			545,700	7.1	
県支出金	支出金			4.9	共同事業拠出金				858,942	11.2
共同事業交付金			854,074	11.2	保健事業費			43,570	0.6	
繰入金			607,001	7.9	その他			186,595	2.5	
その他			78,305	1.0						

# (2) 老人保健特別会計

高齢者の人の自己負担医療費を一般の方よりも軽くし、安心して医療を受けられるようにする老 人保健制度のための会計です。

(単位:千円,%)

歳入予算額	5,951,000		歳出予算額			5,951,000		
歳 入 内 訳	予 算 額	構成比	歳	出	内	訳	予算額	構成比
支払基金交付金	3,139,754	52.8	総務費				26,889	0.5
国庫支出金	1,846,501	31.0	医療諸	費			5,909,502	99.3
県支出金	461,626	7.8	その他				14,609	0.2
繰入金	501,113	8.4						
その他	2,006	0.0						

# (3)介護保険特別会計

加齢に伴って介護や支援が必要になったとき、介護サービスを利用する為の介護保険制度運営のための会計です。要介護状態の軽減や悪化を防止する予防給付も行います。

歳入予算額				4,020,000		歳出予算額			4,020,000		
歳	入	内	訳	予算額	構成比	歳	出	内	訳	予 算 額	構成比
保険料				765,557	19.0	総務費				156,819	3.9
国庫支出金			889,280	22.1	保険給付費			3,775,009	93.9		
支払基金交付金			1,171,789	29.2	地域支援事業費			47,645	1.2		
県支出金			569,140	14.2	公債費			17,666	0.5		
その他			624,234	15.5	その他			22,861	0.5		

# (4)介護サービス事業特別会計

介護サービス事業特別会計は、平成18年度より新たに設置された特別会計で、サービス収入(介護 予防サービス計画費収入)をもって、ケアプラン作成費用を支出するものです。

(単位:千円,%)

歳入	予算額		15,378		歳出予算額			15,378		
歳入	内	訳	予算額	構成比	歳	出	内	訳	予算額	構成比
サービス収入	\		15,375	100.0	サービ	ス事業	費		13,940	90.7
その他			3	0.0	その他				1,438	9.3

# (5) 公共下水道事業特別会計

下水道区域の台所,トイレなどで流した「汚水」をきれいにするための下水道事業の会計です。 今年度の下水道整備工事予定箇所は,笠間地区は石井・下市毛・笠間地内,友部地区は旭町・大田町・平町・南友部・鯉淵地内,岩間地区は下郷・吉岡・泉・土師地内です。

(単位:千円,%)

歳入予算額	2,801,951		歳出予算額			2,801,951		
歳 入 内 訳	予 算 額	構成比	歳	出	内	訳	予 算 額	構成比
使用料及び手数料	447,762	16.0	下水道費			1,495,399	53.4	
国庫支出金	304,600	10.8	公債費			1,301,552	46.4	
繰入金	1,012,985	36.2	予備費			5,000	0.2	
市債	929,600	33.2						
その他	107,004	3.8						

# (6)農業集落排水事業特別会計

農業集落の台所、トイレなどで流した「汚水」をきれいにするための農業集落排水事業の会計です。

今年度から枝折川地区、岩間南部地区が供用開始となります。

歳入予算額	478,802	歳出予算額	478,802	
歳 入 内 訳	予 算 額 構成比	歳 出 内 訳	予 算 額 構成比	
使用料及び手数料	46,448 9.7	農業集落排水事業費	274,488 57.3	
県支出金	77,235 16.1	公債費	203,314 42.5	
繰入金	273,644 57.2	予備費	1,000 0.2	
市債	74,700 15.6			
その他	6,775 1.4			

# 3. 企業会計

# 企業会計予算状況

地方公営企業法を適用して市が経営している事業は、病院事業、上水道事業及び工業用水道事業で す。

病院事業は,市の病院として,地域に密着した医療を実践するための会計です。 上水道事業は,安心な水をみなさんの生活に必要な量を供給するための会計です。

工業用水道事業は、岩間工業団地へ工業用水を供給するための会計です。

会	計 名	科目	予算額	業務の予定量
			千円	
			527,791	病 床 数 30床
				年 間 患 者 数 入院 4,380人
病院	事業	資本的支出	20,197	外来 28,910人
				1日平均患者数 入院 12人
			547,988	外来 118人
		収益的支出	812,935	給 水 戸 数 8,270戸
	(笠間水道)	資本的支出	214,494	年 間 総 給 水 量 2,626,416㎡
		計	1,027,429	1 日 平 均 給 水 量 7,176㎡
	(友部水道)	収益的支出	702,562	
上水道事業		資本的支出	501,223	年 間 総 給 水 量 3,794,322㎡
		計	1,203,785	1 日 平 均 給 水 量 10,367㎡
	(岩間水道)	収益的支出	352,825	給 水 戸 数 4,214戸
		資本的支出	56,054	年 間 総 給 水 量 1,614,060㎡
		計	408,879	1 日 平 均 給 水 量 4,410m <sup>3</sup>
工業用水道事業		収益的支出	36,110	給 水 戸 数 4件
				年間総給水量 280,700㎡
		計	36,110	1 日 平 均 給 水 量 769㎡
		収益的支出	2,432,223	
1	<del>i</del> †	資本的支出	791,968	
		計	3,224,191	